

＜特性理解編＞

学習の困難さごとの配慮や支援の手立て

1	学習の困難さを示す生徒の姿	9
2	「聞く」ことに困難さを示す生徒	11
3	「話す」ことに困難さを示す生徒	13
4	「読む」ことに困難さを示す生徒	15
5	「書く」ことに困難さを示す生徒	17
6	「計算する・推論する」ことに困難さを示す生徒	19
7	「不注意」に関する困難さを示す生徒	21
8	「多動性・衝動性」に関する困難さを示す生徒	23
9	「対人関係・こだわり」に関する困難さを示す生徒	25

1 学習の困難さを示す生徒の姿

- ▶該当する「困難さを示す生徒の姿」にチェックを入れる。
- ▶より多く当てはまる困難さから、具体的な配慮や支援が掲載されているページに移動する。
- ▶「困難さを示す生徒の姿」が該当しない場合は、p.11「手立ての考え方」を参考にしてください。

※障害を診断するものではありません。

※生徒の実態を詳しく把握する際は、宮城県教育委員会が作成した「特別な教育的支援を必要とする児童生徒のチェックリスト」を活用してください。

(<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/tokusi/data3.html>)

▶「聞く」ことに困難さを示す生徒の姿

- 聞き間違いがある
- 聞きもらしがあり、頻繁に聞き返すことがある
- 言葉による指示の理解が難しい
- 話合いが難しい

p.11 へ

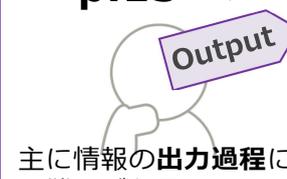


主に情報の**入力過程**に困難さがあるのかも

▶「話す」ことに困難さを示す生徒の姿

- たどたどしく話したり、早口で話したりする
- 言葉に詰まってしまう
- 単語を羅列したり、短い文で内容的に乏しく話したりする
- 長々と話す

p.13 へ



主に情報の**出力過程**に困難さがあるのかも

▶「読む」ことに困難さを示す生徒の姿

- 音読が遅い
- 読み間違いが多い
- 語句や行を抜かしたり、繰り返したりして読む
- 文章の要点を正しく読み取ることが難しい

p.15 へ



主に情報の**入力過程**に困難さがあるのかも

▶ 「書く」ことに困難さを示す生徒の姿

- 読みにくい字を書く
- 漢字を書くことが苦手
- 板書を写すのに時間がかかる
- 短い文章や、決まったパターンの文章しか書けない

p.17へ



主に情報の出力過程に困難さがあるのかも

▶ 「計算する・推論する」ことに困難さを示す生徒の姿

- 計算をするのにとっても時間がかかる
- 文章問題を解くのが難しい
- 図形を描くことが難しい
- 量を比較することや、量を表す単位を理解することが難しい

p.19へ



主に情報の処理過程に困難さがあるのかも

▶ 「不注意」に関する困難さを示す生徒の姿

- ケアレスミスが多い
- 授業中ぼんやりしている
- 時間内に行動することや時間配分が難しい
- 本来の活動でない別のことに注意が奪われやすい

p.21へ



主に情報の出力過程に困難さがあるのかも

▶ 「多動性・衝動性」に関する困難さを示す生徒の姿

- 常に体を動かしていて落ち着かない
- 過度にしゃべる
- 順番を待つのが難しい
- 他の人がしていることをじゃまする

p.23へ



主に情報の出力過程に困難さがあるのかも

▶ 「対人関係・こだわり」に関する困難さを示す生徒の姿

- 不適切な表現で発言してしまう
- グループ学習に取り組めない
- 予定の変更や状況の変化を嫌がる
- 学習のルールを守れない

p.25へ

主に情報の出力過程に困難さがあるのかも

p.25へ

主に情報の入力過程に困難さがあるのかも

2 「聞く」ことに困難さを示す生徒



手立ての考え方

背景要因を探る

Point ・氷山モデルで困難さの背景要因を探る

氷山モデル「サカナの目」

見えている姿

隠れている要因

(平成29年度宮城県総合教育センター
特別支援教育研究グループ成果物より)

困難さに対する指導上の工夫の意図を明確にする

Point ・教師がねらいや根拠を持つ

困難さ	指導上の工夫の意図の例
聞き間違いがある	指示や説明の内容を正しく理解できるように
聞きもらしがあり、頻繁に聞き返すことがある	集中して話が聞けるように
言葉による指示の理解が難しい	「聞く」ことの負担を減らせるように
話合いが難しい	相手の考えを理解できるように

手立てを考える

Point <学級>  ▶ 「授業UD」

Point <個別>  ▶ 「合理的配慮」の視点

・学級や生徒の実態に合わせて組み合わせることも可能です

・p.12を参考に具体的な手立てを考えてみましょう

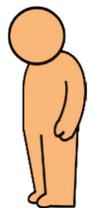
・実践後に効果が現れないときは手立てを見直すことも大切です

◆生徒自身の思いやできない理由を知ることも大切です。生徒の声に耳を傾けてみませんか？

何回言われても覚えるのが苦手。忘れても周りの人に聞けなかったから、下ばかり見た。

一度にあれこれ言われても分からないから質問するのに、周りから「うるさい」って言われる。分からないんだから、聞いたっていいじゃないか。

何て言われたのかよく覚えていないけど、とりあえずうなずいていればいいか。



ともまなび

「聞く」ことに困難さを示す生徒は、言葉のみの説明を理解することが苦手です。理解できないことが積み重なると消極的な姿勢として表れ、学習意欲だけでなく、人間関係の形成にまで影響を与えてしまう場合があります。日頃から、「聞く」ことに集中できる環境を整えて習慣付けることで、全ての生徒が過ごしやすい学級を目指していきましょう。

聞き間違いがある	
見えている姿	
隠れている要因	<input type="checkbox"/> 大事な言葉やキーワードを聞き分けることが難しいのかも <input type="checkbox"/> 突然話題が変わると、内容が理解できないのかも <input type="checkbox"/> 最後まで話を聞かずに、途中で勝手に判断してしまうのかも
	
<学級>	<input type="checkbox"/> キーワードになる言葉を板書する <input type="checkbox"/> 教師の話の最後には生徒からの質問を受け付け、学級全体に還元する <input type="checkbox"/> 生徒同士で話したり、説明後に教師が質問したりして、内容を確認する場面を設ける
<個別>	<input type="checkbox"/> 机間指導の際、聞き間違ふことの影響が書字にも表れていないか確認する <input type="checkbox"/> 資料やワークシートは事前に配付し、授業では確かめながら聞けるようにする
聞きもらしがあり、頻繁に聞き返すことがある	
見えている姿	
隠れている要因	<input type="checkbox"/> 様々な音と同じ大きさで聞こえるため、必要な情報を聞き取れないのかも <input type="checkbox"/> 自分に対して話されていると感じていないのかも <input type="checkbox"/> 聞いた内容を覚えておくことが難しいのかも
<学級>	<input type="checkbox"/> 机や椅子の脚にカバーをつけて、余計な雑音を排除する <input type="checkbox"/> 「3つ話します」「大事な話をします」など、集中できるような働き掛けをする <input type="checkbox"/> キーワードを繰り返し伝えたり、教師に続いて復唱するよう促したりする
<個別>	<input type="checkbox"/> 補足説明やヒントは付箋に書いて手渡す <input type="checkbox"/> 教科書やワークシートの読んでいる位置や、取り組んでいる課題の位置を指さす
言葉による指示の理解が難しい	
見えている姿	
隠れている要因	<input type="checkbox"/> 曖昧で抽象的な表現が理解できないのかも <input type="checkbox"/> 耳からの情報だけでは覚えられないのかも <input type="checkbox"/> 複数の情報を同時に理解することが難しいのかも
	
<学級>	<input type="checkbox"/> 内容は具体的かつ簡潔に話す <input type="checkbox"/> 絵や写真などの視覚的な手掛かりに文字を添えて示す <input type="checkbox"/> 一度の指示で内容は一つとし、順序立てて伝える
<個別>	<input type="checkbox"/> 解決までに複数の工程がある場合はメモで示す <input type="checkbox"/> ICT機器で会話を視覚化するアプリケーションを活用する
話合いが難しい	
見えている姿	
隠れている要因	<input type="checkbox"/> 話している人の意見に興味がないのかも <input type="checkbox"/> 話している人と話の内容を一致させようとするだけで精一杯なのかも <input type="checkbox"/> 次々と変わる話題についていけないのかも
	
<学級>	<input type="checkbox"/> 話合いのねらいを明確に示す <input type="checkbox"/> 友達の考えを記録できる形式のワークシートを用意し、メモする時間も確保する <input type="checkbox"/> 一度の話合いではテーマを一つにする
<個別>	<input type="checkbox"/> 互いの関係性や本人の困難さに対する理解、人数などに留意してグルーピングする <input type="checkbox"/> 話合いの流れを示した表を用意し、必要なときに自分で確認できるようにしておく

3 「話す」ことに困難さを示す生徒

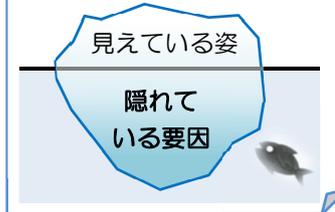


手立ての考え方

背景要因を探る

Point ・氷山モデルで困難さの背景要因を探る

氷山モデル「サカナの目」



(平成29年度宮城県総合教育センター 特別支援教育研究グループ成果物より)

困難さに対する指導上の工夫の意図を明確にする

Point ・教師がねらいや根拠を持つ

困難さ	指導上の工夫の意図の例
たどたどしく話したり、早口で話したりする	相手に伝わる話し方ができるように
言葉に詰まってしまう	落ち着いて話すことができるように
単語を羅列したり、短い文で内容的に乏しく話したりする	文脈を意識して話せるように
長々と話す	伝えたい内容を整理してから話せるように

手立てを考える

Point <学級> ▶ 「授業UD」

Point <個別> ▶ 「合理的配慮」の視点

・学級や生徒の実態に合わせて組み合わせることも可能です

・p.14を参考に具体的な手立てを考えてみましょう

・実践後に効果が現れないときは手立てを見直すことも大切です

◆生徒自身の思いやできない理由を知ることも大切です。生徒の声に耳を傾けてみませんか？

授業中、急に当てられるとドキドキしてすぐには答えられない。分かってはいるから、時間さえあれば答えられるのに。

ちゃんと伝えているのに、どうして分かってくれないんだろう。

「話さなきゃ」という気持ちが強くなり、焦ってばかりいた。



ともまなび

「話す」ことに困難さを示す生徒は、自分の考えを持ちながらも、相手に伝わらないもどかしさを感じています。授業では、「発言しないから理解していない」と評価するのではなく、生徒の考えを引き出すために、どのような手立てが有効かを考えてみてください。

見えている姿		ただどしく話したり，早口で話したりする	
隠れている要因	<input type="checkbox"/> 自分の考えに自信が持てないのかも <input type="checkbox"/> 相手に伝えたい気持ちが強すぎるのかも <input type="checkbox"/> 皆の前だと緊張しすぎてしまうのかも		
<学級>	<input type="checkbox"/> 話したこと自体を認めて評価し，次時の意欲につながるようにする <input type="checkbox"/> 話は途中でさえぎらず，最後まで聞く <input type="checkbox"/> 心理的な負担を軽減するために，着席したまま答えることを認める		
<個別>	<input type="checkbox"/> 特に興味・関心がある分野の話題を取り上げ，話す意欲を低下させないようにする <input type="checkbox"/> 緊張しにくい座席配置や教師との距離を配慮する		
見えている姿		言葉に詰まってしまう	
隠れている要因	<input type="checkbox"/> 相手の反応や正誤を気にしすぎて意見を言えないのかも <input type="checkbox"/> 自分の考えを言語化するのに時間が掛かるのかも <input type="checkbox"/> 特定の状況や場面において，適切に意思表示できないのかも		
<学級>	<input type="checkbox"/> 選択肢を用意し，意思表示しやすい状況を設定する <input type="checkbox"/> 事前に予告をしてから指名する <input type="checkbox"/> 原因や不安になるものの解明に努め，取り除く		
<個別>	<input type="checkbox"/> 発表時は穴埋め形式のプリントを活用し，内容を読み上げるよう促す <input type="checkbox"/> 書く，指し示す，ICT 機器活用などの方法を認める		
見えている姿		単語を羅列したり，短い文で内容的に乏しく話したりする	
隠れている要因	<input type="checkbox"/> 頭の中で話を組み立てる力が弱いのかも <input type="checkbox"/> 伝えたい内容のキーワードに固執してしまうのかも <input type="checkbox"/> 伝える内容を覚えておくことが難しいのかも		
<学級>	<input type="checkbox"/> 「いつ」「何を」など見出しを伝える <input type="checkbox"/> キーワードに関連するヒントを与えて，内容を引き出す <input type="checkbox"/> 前もって話す内容を書いたメモを見ながら話してよいことを伝える		
<個別>	<input type="checkbox"/> 言葉の足りない部分は教師が思いをくみ取り，補って伝える <input type="checkbox"/> 話の内容を補うために，実物や写真などを用意する		
見えている姿		長々と話す	
隠れている要因	<input type="checkbox"/> 話したい内容のポイントを絞って伝えることが難しいのかも <input type="checkbox"/> 伝えようとする情報量が多すぎるのかも <input type="checkbox"/> 相手の気持ちを察することが苦手で一方向的に話しているのかも		
<学級>	<input type="checkbox"/> あらかじめ何について話すのかを示し，考える時間も設ける <input type="checkbox"/> 時系列に順序立てて伝えるよう促す <input type="checkbox"/> 「ということは」「つまり」などの切り返しや補足の質問をする		
<個別>	<input type="checkbox"/> 最初に，伝える内容や見出し，結論などを視覚的に提示する <input type="checkbox"/> 伝えたいことをまとめるモデル文を示す		

4 「読む」ことに困難さを示す生徒



手立ての考え方

背景要因を探る

Point ・冰山モデルで困難さの背景要因を探る

冰山モデル「サカナの目」

見えている姿

隠れている要因

(平成29年度宮城県総合教育センター
特別支援教育研究グループ成果物より)

困難さに対する指導上の工夫の意図を明確にする

Point ・教師がねらいや根拠を持つ

困難さ	指導上の工夫の意図の例
音読が遅い	安心して音読ができるように
読み間違いが多い	間違いやすい箇所や語句を意識できるように
語句や行を抜かししたり、 繰り返したりして読む	読むべきところに集中できるように
文章の要点を正しく読み 取ることが難しい	文章の構成を理解できるように

手立てを考える

Point <学級> ▶ 「授業UD」

Point <個別> ▶ 「合理的配慮」の視点

・学級や生徒の実態に合わせて
組み合わせることも可能です

・p.16を参考に具体的な手立て
を考えてみましょう

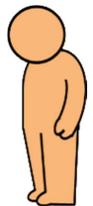
・実践後に効果が現れないときは
手立てを見直すことも大切です

◆生徒自身の思いやできない理由を知ることも大切です。生徒の声に耳を傾けてみませんか？

「黙読しましょう」と言われるけど、やり方が分からないから、一度もしたことがない。

視力検査では「異常なし」なのに、文字がゆがんだり重なり重なりして見えるときがある。疲れているからなのかな？

授業によって、ワークシートの読みやすさに違いがある。正直、読みにくいとやる気も失せる。



ともまなび

「読む」ことに困難さを示す生徒は、自らの悩みを表に出せずにいるかもしれません。「読む」ことが学習のねらいではなく、ねらいの達成に向けた一つの手立てであれば、思い切って他の方法（「聞かせる」や「見せる」など、p.2「認知特性とは」参照）を試してみてもいいのではないでしょうか。生徒にとって、主体的に学ぶ方法を身に付ける機会になるかもしれません。

音読が遅い	
見えている姿	
隠れている要因	<input type="checkbox"/> 間違えて読むことの不安を感じすぎてしまうのかも <input type="checkbox"/> 言葉を一音ずつでしか捉えられないのかも <input type="checkbox"/> 文字と音を結び付けること（音韻処理）が難しいのかも
<学級> 	<input type="checkbox"/> 失敗をからかわない、笑わない雰囲気づくりに努める <input type="checkbox"/> 言葉のまとまりを囲んだり、線を引いたりする <input type="checkbox"/> 内容を理解してから取り組めるよう、最初に教師が範読する
<個別> 	<input type="checkbox"/> 内容を理解するための音読であれば無理強いせず、他生徒の音読を聞くよう指示する <input type="checkbox"/> 円陣読み、共読み、追いかけて読みなど、取り組みやすい方法を事前に提示する
読み間違いが多い	
見えている姿	
隠れている要因	<input type="checkbox"/> 形が似ている文字の区別が難しいのかも <input type="checkbox"/> 内容を勝手に予測して読んでしまうのかも <input type="checkbox"/> 漢字の音読み訓読みの区別が理解できないのかも
<学級> 	<input type="checkbox"/> 間違いやすい部分に印や色を付け、意識することを促す <input type="checkbox"/> 長文も短く区切り、細部まで意識して丁寧に読むことを促す <input type="checkbox"/> 覚えるまではルビを振ってもよいことを伝える
<個別> 	<input type="checkbox"/> 読みやすい書体や文字の大きさを提示する <input type="checkbox"/> 分かち書きやスラッシュ入りなどのワークシートを用意する
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">病気を克服した。</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">事業を営んでいた父が</div> </div>	
語句や行を抜かしたり、繰り返したりして読む	
見えている姿	
隠れている要因	<input type="checkbox"/> 文字がゆがんだり重なったり、独特の見え方をしているのかも <input type="checkbox"/> 文字を目で追い続けたり、文字にピントを合わせたりすることが難しいのかも <input type="checkbox"/> 文のつながりを意識していないのかも
<学級> 	<input type="checkbox"/> 行間を広げて文章を提示する <input type="checkbox"/> 着席したままで、指でなぞりながら音読する方法を認める <input type="checkbox"/> 内容を理解してから音読を促す
<個別> 	<input type="checkbox"/> 幅の異なるリーディング・スリットを数種類用意する <input type="checkbox"/> 文を全て改行しているプリントを用意する
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">でもくーしこ類こは私</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">く優てゆてと、と学の</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">れしいつ担が从て校野</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">まくいゝ任幸前村の兼</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">し言よりの手で。先の</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">た薬一、並な発州生夢</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">をと無生私表学に、</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">構いらは村にす生なそ</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">けつな、対るのるれ</div> </div>	
文章の要点を正しく読み取ることが難しい	
見えている姿	
隠れている要因	<input type="checkbox"/> 声を出すことに精一杯で、内容まで理解できないのかも <input type="checkbox"/> 指示語や接続語の意味が分からないのかも <input type="checkbox"/> 中心となるキーワードや文を見付けられないのかも
<学級> 	<input type="checkbox"/> 読む場面よりも聞かせる場面を多く設ける <input type="checkbox"/> 指示語は具体的な言葉に変換し、接続語は矢印や記号などで表す <input type="checkbox"/> 全体像を捉えてから、細部に目を向けるようにする
<個別> 	<input type="checkbox"/> 文章の構成図や人物の関係図など、補助資料を用意する <input type="checkbox"/> ICT機器で音声教材を活用する

5 「書く」ことに困難さを示す生徒



手立ての考え方

背景要因を探る

Point ・冰山モデルで困難さの背景要因を探る

冰山モデル「サカナの目」



(平成29年度宮城県総合教育センター 特別支援教育研究グループ成果物より)

困難さに対する指導上の工夫の意図を明確にする

Point ・教師がねらいや根拠を持つ

困難さ	指導上の工夫の意図の例
読みにくい字を書く	バランスの整った字を書けるように
漢字を書くことが苦手	正しく理解できるように
板書を写すのに時間がかかる	文字を書く負担を軽減するために
短い文章や、決まったパターンの文章しか書けない	文章構成に見通しが持てるように

手立てを考える

Point <学級> ▶ 「授業UD」

Point <個別> ▶ 「合理的配慮」の視点

・学級や生徒の実態に合わせて組み合わせることも可能です

・P18を参考に具体的な手立てを考えてみましょう

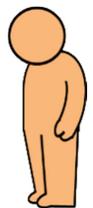
・実践後に効果が現れないときは手立てを見直すことも大切です

◆生徒自身の思いやできない理由を知ることも大切です。生徒の声に耳を傾けてみませんか？

黒板を写し終わる前にいつも消される。全部書けてないから後から見ても分からない。

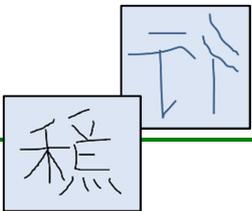
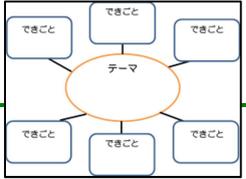
何回書いても漢字が書けなくて、「ちゃんと見て書きなさい」と言われる。見てるんだけどな。

作文ってどう書けばいいの？思ったことって言われても、うまくまとめられない。



ともまなび

「書く」ことに困難さを示す生徒が、安心して授業に参加できるよう板書を工夫してみませんか。どの教科でもノートの使い方をそろえて、「課題」「まとめ」「今日の流れ」などを示し、「図」「矢印」も効果的に取り入れてみましょう。板書内容を精選することは、思考の時間を確保し、より深い学びにもつながります。

読みにくい字を書く	
見えている姿	
隠れている要因	<input type="checkbox"/> 文字のバランスをうまくつかめていないのかも <input type="checkbox"/> 手や腕を協調的に動かすことが難しいのかも <input type="checkbox"/> 丁寧に書く習慣が身に付いていないのかも
	
<学級>	<input type="checkbox"/> 配付するプリントなどは、見やすい書体や文字の大きさに提示する <input type="checkbox"/> 多く書くことを望まず、書く内容を精選する <input type="checkbox"/> 早く書くことが良いことではないことを伝え、書く時間を設定し示す
<個別>	<input type="checkbox"/> 文字を書く姿勢と字を書いている手の位置、筆記用具の使いやすさなどを確認する <input type="checkbox"/> 本人にとって使いやすいノート、用紙、枠、マス、罫線などを用意する
漢字を書くことが苦手	
見えている姿	
隠れている要因	<input type="checkbox"/> 漢字の形や左右を正しく把握して記憶することが難しいのかも <input type="checkbox"/> 漢字の細部を曖昧に記憶しているのかも <input type="checkbox"/> 似た漢字と混同して正しい漢字が書けないのかも
	
<学級>	<input type="checkbox"/> 新出漢字や複雑な漢字は、黒板の隅に大きく表記して理解を促す <input type="checkbox"/> 漢字の構成や筆順を言語化して理解を促す <input type="checkbox"/> 似ている漢字との違いや意味などを伝え理解を促す
<個別>	<input type="checkbox"/> 板書を写している時間などを利用して、正しく書けているか確認し言葉掛けをする <input type="checkbox"/> 点や線の数など、間違いやすい部分や意識してほしい点をまとめたプリントを用意する
板書を写すのに時間がかかる	
見えている姿	
隠れている要因	<input type="checkbox"/> 短期記憶が弱く、書かれていることを覚えていられないのかも <input type="checkbox"/> 黒板とノートを何度も見ているうちに、他のことに注意が奪われるのかも <input type="checkbox"/> 話を聞きながら、板書を写すことが難しいのかも
<学級>	<input type="checkbox"/> 板書の補助プリントやワークシートを活用する <input type="checkbox"/> 黒板まわりの刺激を少なくし、集中しやすい環境を整える <input type="checkbox"/> 板書中の指示は控え、板書を写す時間を確保するとともに板書内容を精選する
<個別>	<input type="checkbox"/> 板書の見本をプリントし、ノートの横に置いて写せるようにする <input type="checkbox"/> ICT機器を活用して、ノートをまとめることを認める
短い文章や、決まったパターンの文章しか書けない	
見えている姿	
隠れている要因	<input type="checkbox"/> 何について書くのか理解できていないのかも <input type="checkbox"/> 書きたいことをうまく整理できないのかも <input type="checkbox"/> 語彙が少ないのかも
	
<学級>	<input type="checkbox"/> キーワードを抽出できるよう、テーマの写真や資料を準備する <input type="checkbox"/> 書きたいことを箇条書きできるプリントを用意する <input type="checkbox"/> 気持ちを表現する言葉や比喻表現など、活用できそうな言葉や文例を提示する
<個別>	<input type="checkbox"/> 5W1H 質問形式や、マインドマップワークシートなどを用意する <input type="checkbox"/> 思い付く文章を音声入力してまとめられるよう、ICT機器を用意する

6 「計算する・推論する」ことに困難さを示す生徒

$$2(a+3) = 2a+6 ?$$

手立ての考え方

背景要因を探る

Point ・冰山モデルで困難さの背景要因を探る

冰山モデル「サカナの目」

見えている姿

隠れている要因

(平成29年度宮城県総合教育センター特別支援教育研究グループ成果物より)

困難さに対する指導上の工夫の意図を明確にする

Point ・教師がねらいや根拠を持つ

困難さ	指導上の工夫の意図の例
計算をするのにとっても時間がかかる	計算手順を理解して活用できるように
文章問題を解くのが難しい	何を求められているのか理解できるように
図形を描くことが難しい	特徴を捉えることができるように
量を比較することや、量を表す単位を理解することが難しい	量の感覚が身に付くように

手立てを考える

Point <学級>  ▶ 「授業UD」

Point <個別>  ▶ 「合理的配慮」の視点

・学級や生徒の実態に合わせて組み合わせることも可能です

・p.20を参考に具体的な手立てを考えてみましょう

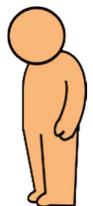
・実践後に効果が現れないときは手立てを見直すことも大切です

◆ 生徒自身の思いやできない理由を知ることも大切です。生徒の声に耳を傾けてみませんか？

小学生の頃は、「計算がちょっと苦手かな」って思う程度だったのに、今は全く分からない。

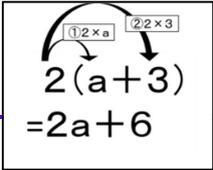
「頭の中で考えて」って言われるけど、何をどう考えればいいの？イメージなんてできない。

努力しても全然点数がとれない。定期テストではまた数学はあきらめるしかないのかな。



ともまなび

「計算する・推論する」ことに困難さを示す生徒は、特定の授業だけではなく、生活のあらゆる場面で苦しさを感じているはず。ICT機器は生徒の困難さを補完し、学習を効率よく進める手立てとして非常にメリットがあると言えます。ICT機器を活用し、五感に働き掛ける提示をすることで、生徒の理解を深める工夫をしましょう。

計算をするのにとても時間がかかる	
見えている姿	
隠れている要因	<input type="checkbox"/> 数や記号を一目で判断できないのかも <input type="checkbox"/> 計算のルールや手順が身に付いていないのかも <input type="checkbox"/> 計算途中の数字を一時的に覚えておくことが苦手なのかも
<学級>	<input type="checkbox"/> 式を読み上げてから取り組ませる <input type="checkbox"/> 計算部分に下線を引いたり、計算順序を丸数字で示したりする <input type="checkbox"/> 途中式は全て記入し、間違った場合でも振り返ることができるようにする
<個別>	<input type="checkbox"/> 計算手順とポイントをまとめたワークシートを用意する <input type="checkbox"/> 計算が答えを導く手段の場合、計算の遅さを補う意味で電卓の使用を認める
	
文章問題を解くのが難しい	
見えている姿	
隠れている要因	<input type="checkbox"/> 文章を読むこと自体が難しいのかも <input type="checkbox"/> 文章の内容を想像することが苦手なのかも <input type="checkbox"/> 何を求める文章なのかが分からないのかも
<学級>	<input type="checkbox"/> 問題文を理解するための補助として、絵で表す <input type="checkbox"/> 文章は普段の生活に関連した内容にする <input type="checkbox"/> キーワードとなる言葉や数字に印を付ける
<個別>	<input type="checkbox"/> 問題文は初見にならないよう、事前に配付する <input type="checkbox"/> 抵抗感をなくせるよう、小数やルートなどの数値は整数に置き換えて提示する
	
図形を描くことが難しい	
見えている姿	
隠れている要因	<input type="checkbox"/> 図形の特徴を覚えることが苦手なのかも <input type="checkbox"/> 面や辺の位置関係を把握することが難しいのかも <input type="checkbox"/> その場にはないものをイメージすることができないのかも
<学級>	<input type="checkbox"/> 頂点の数や角度など、特徴的な部分に着目するよう伝える <input type="checkbox"/> 面や辺を色分けして、捉えやすくする <input type="checkbox"/> 立体模型を示すだけでなく、言語情報を加えて特徴を説明する
<個別>	<input type="checkbox"/> 実際に立体模型や展開図を用意し、触って確認できるようにする <input type="checkbox"/> ICT機器を活用し、三次元で表した立体図形を回転させたり展開させたりする
量を比較することや、量を表す単位を理解することが難しい	
見えている姿	
隠れている要因	<input type="checkbox"/> 単位が何を表すのかが分からないのかも <input type="checkbox"/> 数字と単位から、おおよその量を推測できないのかも <input type="checkbox"/> 単位の換算が理解できないのかも
<学級>	<input type="checkbox"/> 身近にあるものに例えて説明する <input type="checkbox"/> 図やイラスト、グラフなどを用いて視覚的に示す <input type="checkbox"/> 単位一覧表や換算表を用意し、問題を解く際のヒントとして使用することを認める
<個別>	<input type="checkbox"/> 量感をつかむことができるよう、具体物や半具体物を用意する <input type="checkbox"/> ICT機器を活用し、アニメーションで量の違いや変化の様子を表す

7 「不注意」に関する困難さを示す生徒



手立ての考え方

背景要因を探る

Point ・冰山モデルで困難さの背景要因を探る

冰山モデル「サカナの目」

見えている姿

隠れている要因

(平成29年度宮城県総合教育センター
特別支援教育研究グループ成果物より)

困難さに対する指導上の工夫の意図を明確にする

Point ・教師がねらいや根拠を持つ

困難さ	指導上の工夫の意図の例
ケアレスミスが多い	大事なことに注意が向き、見直しも身に付くように
授業中ぼんやりしている	何に集中すべきか理解して取り組めるように
時間内に行動することや時間配分が難しい	学習課題を順序立てて取り組めるように
本来の活動でない別のことに注意が奪われやすい	取り組むべき活動に集中できるように

手立てを考える

Point <学級> ▶ 「授業UD」

Point <個別> ▶ 「合理的配慮」の視点

・学級や生徒の実態に合わせて組み合わせることも可能です

・p.22を参考に具体的な手立てを考えてみましょう

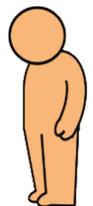
・実践後に効果が現れないときは手立てを見直すことも大切です

◆生徒自身の思いやできない理由を知ることも大切です。生徒の声に耳を傾けてみませんか？

人と話しているとき、急に相手の髪型とかが気になって話の内容が分からなくなる。「聞いているの？」って言われるたびに、ドキッとする。

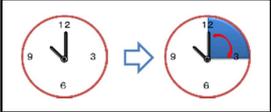
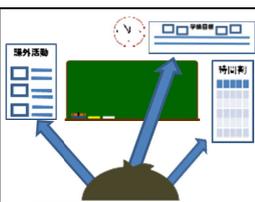
みんなが先生に言われたとおりにてきぱきと行動しているのを見て、「何であんなふうに見えるの？」って思う。

忘れ物をして注意されたときは、「次は絶対忘れない！」って思うのに、次の日も同じものを忘れちゃう。



ともまなび

「不注意」に関する困難さを示す生徒に対し、反省を促したり、叱責を繰り返したりしても効果はないと言われています。理由はワーキングメモリー（作業記憶）の弱さが原因の一つであると考えられているためです。生徒の自己肯定感を高めるためには、プラスの側面を評価したり、ミスを挽回できるチャンスをつくったりしましょう。

見えている姿		ケアレスミスが多い
見えている姿	隠れている要因	<input type="checkbox"/> あまり深く考えず、思いついたまま行動してしまうのかも <input type="checkbox"/> 注意するポイントを意識し続けることが難しいのかも <input type="checkbox"/> 確認方法が身に付いていなかったり、足りなかったりするのかも
<学級>		<input type="checkbox"/> ささいなことでも正しい行動を認め、タイミング良く褒める <input type="checkbox"/> 板書では、チョークの色遣いを工夫して注意を促す <input type="checkbox"/> 定期考査や小テストでは、見直しの実施を促す
<個別>		<input type="checkbox"/> 場面に合わせたチェックリストを用意し、活動を振り返りやすくする <input type="checkbox"/> メモすることを促し、書きぶりを確認する
見えている姿		授業中ぼんやりしている
見えている姿	隠れている要因	<input type="checkbox"/> 何にどのように集中したらよいか、分からないのかも <input type="checkbox"/> 活動時間が長すぎるのかも <input type="checkbox"/> 教師の話を中心とした一斉指導の形態が合っていないのかも
<学級>		<input type="checkbox"/> 言葉の指示に合わせて指示棒やポインターを活用する <input type="checkbox"/> 学習方法を見直し、単調な活動の繰り返しを避ける <input type="checkbox"/> 生徒同士で内容を確認したり、意見を交換したりする場面を設ける
<個別>		<input type="checkbox"/> 机間指導で言葉を掛けながら、活動に注意を促す <input type="checkbox"/> 課題は小出しにする
見えている姿		時間内に行動することや時間配分が難しい
見えている姿	隠れている要因	<input type="checkbox"/> 目標達成や活動の終わりをイメージしにくいのかも <input type="checkbox"/> 優先順位を把握することが難しいのかも <input type="checkbox"/> 複数の課題を同時にこなすことが苦手なのかも
<学級>		<input type="checkbox"/> 学習課題や結論を先に提示する <input type="checkbox"/> 活動に取り組む順序を表示する <input type="checkbox"/> 課題を終えたのを確認してから、次の課題について指示を伝える
<個別>		<input type="checkbox"/> タイマーで残り時間を表示する <input type="checkbox"/> あらかじめ課題量を調整して提示する
		
見えている姿		本来の活動でない別のことに注意が奪われやすい
見えている姿	隠れている要因	<input type="checkbox"/> 掲示物や人、状況など、周囲からの刺激に気がそれやすいのかも <input type="checkbox"/> 時間が経つことで、活動の意味や目的を忘れてしまうのかも <input type="checkbox"/> 次々と興味・関心が移ってしまうのかも
<学級>		<input type="checkbox"/> 黒板周辺の掲示物や棚をカーテン等で隠して刺激を取り除く <input type="checkbox"/> 必要な場面で内容を振り返るための発問をする <input type="checkbox"/> 注目を促してから話し始める
<個別>		<input type="checkbox"/> 具体物を提示したり、体験的な活動を取り入れたりする <input type="checkbox"/> 座席を教師の近くや、窓側を避けるなど、集中しやすいように配慮する
		

8 「多動性・衝動性」に関する困難さを示す生徒



手立ての考え方

背景要因を探る

Point ・冰山モデルで困難さの背景要因を探る

冰山モデル「サカナの目」



(平成29年度宮城県総合教育センター特別支援教育研究グループ成果物より)

困難さに対する指導上の工夫の意図を明確にする

Point ・教師がねらいや根拠を持つ

困難さ	指導上の工夫の意図の例
常に体を動かしていて落ち着かない	短時間でも集中して学習に取り組めるように
過度にしゃべる	発言する際のルールを理解できるように
順番を待つのが難しい	順番を待つ意味や目的を理解できるように
他の人がしていることをじゃまする	適切に関わることができるように

手立てを考える

Point <学級> ▶ 「授業UD」

Point <個別> ▶ 「合理的配慮」の視点

・学級や生徒の実態に合わせて組み合わせることも可能です

・p.24を参考に具体的な手立てを考えてみましょう

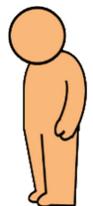
・実践後に効果が現れないときは手立てを見直すことも大切です

◆生徒自身の思いやできない理由を知ることも大切です。生徒の声に耳を傾けてみませんか？

おとなしくできないし、すぐに怒ってけんかしちゃう。分かっているけど止められない。

いつもしゃべった直後に、「まずい！」って気付く。同じ失敗を何度も繰り返すから、自分が嫌になる。

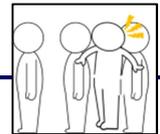
壁や物を蹴っていたけど、特に理由はない。でもそれじゃ格好悪いから、イライラしているふりをしていた。



ともまなび

「多動性・衝動性」に関する困難さを示す生徒は、場面によっては優れた発想力・行動力を発揮します。授業や学校行事において、本人の強みを生かせるような役割を任せてみてはいかがでしょうか。自己肯定感が高まるだけでなく、周囲から評価を得ることで、お互いに良好な関係を築くきっかけにもつながるでしょう。

<p>見えている姿</p>	常に体を動かしていて落ち着かない	
<p>隠れている要因</p>	<p><input type="checkbox"/>何か不安に感じていることがあるのかも</p> <p><input type="checkbox"/>姿勢の保持が苦手なのかも</p> <p><input type="checkbox"/>無意識に体を動かすことで、実は気持ちを落ち着かせているのかも</p>	
<p><学級></p> 	<p><input type="checkbox"/>できる範囲で不安の原因となるものを取り除く</p> <p><input type="checkbox"/>話を聞かせるときは正しい姿勢を促してから始める</p> <p><input type="checkbox"/>着席し続けることを避け、動作を取り入れた授業展開を心掛ける</p>	
<p><個別></p> 	<p><input type="checkbox"/>周囲から目立たない形で、気持ちを落ち着かせるための道具の使用を認める</p> <p><input type="checkbox"/>ワークシートの配付等、その場から動いても周囲に認められる役割を指示する</p>	
<p>見えている姿</p>	過度にしゃべる	
<p>隠れている要因</p>	<p><input type="checkbox"/>話したい気持ちをコントロールするのが難しいのかも</p> <p><input type="checkbox"/>場の状況や雰囲気理解できないのかも</p> <p><input type="checkbox"/>相手に伝わらないと思込み、つい声が大きくなってしまうのかも</p>	
<p><学級></p> 	<p><input type="checkbox"/>挙手をし、指名されてから発言するルールを徹底する</p> <p><input type="checkbox"/>何に取り組む時間であるか分かるように黒板に表示し、注意を促す</p> <p><input type="checkbox"/>状況に応じた声量を意識できるよう、「声の大きさ表」を掲示する</p>	
<p><個別></p> 	<p><input type="checkbox"/>自分の考えはノートに記入してから読み上げるよう促す</p> <p><input type="checkbox"/>授業者がさりげなく言葉掛けできるよう、座席を前方に配置する</p>	
<p>見えている姿</p>	順番を待つのが難しい	
<p>隠れている要因</p>	<p><input type="checkbox"/>自分の行動を抑えることができないのかも</p> <p><input type="checkbox"/>目的にばかり気を取られ、順番に対する意識が薄れているのかも</p> <p><input type="checkbox"/>待つことへの見通しが持てずにいるのかも</p>	
<p><学級></p> 	<p><input type="checkbox"/>順番で取り組む理由やルールを説明する</p> <p><input type="checkbox"/>視覚に訴える方法で順番を表示し、いつでも確認できる状態にする</p> <p><input type="checkbox"/>時間や人数など、待つことに対する目安を具体的に伝える</p>	
<p><個別></p> 	<p><input type="checkbox"/>待ち時間が短くなるよう、順番に配慮する</p> <p><input type="checkbox"/>待ち時間の過ごし方が書かれてある個別のスケジュール表を用意する</p>	
<p>見えている姿</p>	他の人がしていることをじゃまする	
<p>隠れている要因</p>	<p><input type="checkbox"/>自分の気持ちを抑えることが難しいのかも</p> <p><input type="checkbox"/>相手がどう思うか、その場で判断することが難しいのかも</p> <p><input type="checkbox"/>課題に対して「できる」見通しが持てないのかも</p>	
<p><学級></p> 	<p><input type="checkbox"/>深呼吸やストレッチをして、気持ちをリラックスするよう促す</p> <p><input type="checkbox"/>授業中の言動に関するルールを掲示する</p> <p><input type="checkbox"/>課題解決までのプロセスをスモールステップで提示する</p>	
<p><個別></p> 	<p><input type="checkbox"/>授業に集中できるよう、座席を前方にしたり、前後左右の座席間隔を離したりする</p> <p><input type="checkbox"/>気持ちを言語化・文章化することで、一呼吸おいて考えさせる時間を作る</p>	



9 「対人関係・こだわり」に関する困難さを示す生徒



手立ての考え方

背景要因を探る

Point

・氷山モデルで困難さの背景要因を探る

氷山モデル「サカナの目」

見えている姿

隠れている要因

(平成29年度宮城県総合教育センター
特別支援教育研究グループ成果物より)

困難さに対する指導上の工夫の意図を明確にする

Point

・教師がねらいや根拠を持つ

困難さ	指導上の工夫の意図の例
不適切な表現で発言してしまう	良好な関係を築けるように
グループ学習に取り組めない	相手と関わりながら学ぶために
予定の変更や状況の変化を嫌がる	見通しを持って行動するために
学習のルールを守れない	ルールを正しく理解するために

手立てを考える

Point

<学級>  ▶ 「授業UD」

Point

<個別>  ▶ 「合理的配慮」の視点

・学級や生徒の実態に合わせて
組み合わせることも可能です

・p.26を参考に具体的な手立て
を考えてみましょう

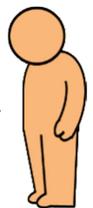
・実践後に効果が現れないときは
手立てを見直すことも大切です

◆生徒自身の思いやできない理由を知ること大切です。生徒の声に耳を傾けてみませんか？

「頑張り」って励まされるより、具体的な指示がほしかった。

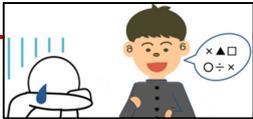
自分は周りの人よりできないことが多いけど、先生に認めてもらったときはうれしかった。

よく友達とけんかして孤立しちゃうけど、どうすればいいのか、何がいけないのかが分からない。



ともまなび

「対人関係・こだわり」に関する困難さを示す生徒への指導場面において、「〇〇しません」と否定的な言葉を使ってしまうことはありませんか。とっさの場面でも一呼吸置いて、肯定的な表現で望ましい行動を具体的に伝えるといいですよ。そして、生徒が「次こそは気を付けよう」と自主的に意識できるよう導きましょう。

見えている姿		不適切な表現で発言してしまう	
見えている姿	隠れている要因	<input type="checkbox"/> 語彙が乏しく、自分の思いや考えに合った言葉を知らないのかも <input type="checkbox"/> 状況理解の弱さが空気の読めない不適切な発言につながっているのかも <input type="checkbox"/> 適切な言動が分からないのかも	
<学級>	<input type="checkbox"/> 例を挙げながら適切で前向きな表現を提示する <input type="checkbox"/> どのような雰囲気や状況であるかを言語化して伝えておく <input type="checkbox"/> 望ましい表現をまとめた一覧表を掲示し、意識できる状況にしておく		
<個別>	<input type="checkbox"/> 発言することをあらかじめ記入させ、教師が確認した後に発言を促す <input type="checkbox"/> カード等を見せて、望ましい言い回しを示す		
見えている姿		グループ学習に取り組めない	
見えている姿	隠れている要因	<input type="checkbox"/> グループ活動に対する関心が薄いのかも <input type="checkbox"/> 周囲とどのように関わったらいいかが分からないのかも <input type="checkbox"/> 複数の人の存在や話し声に対し、過度なストレスを感じてしまうのかも	
<学級>	<input type="checkbox"/> 活動場所やメンバー、活動内容などを表示する <input type="checkbox"/> 一人一役制にし、グループでの役割分担を明確にする <input type="checkbox"/> 無理のない範囲で活動できるよう、少人数でのグループ編成にする		
<個別>	<input type="checkbox"/> 周囲の活動の様子を見学させてから、グループに加わるよう促す <input type="checkbox"/> グループのメンバーに配慮する		
見えている姿		予定の変更や状況の変化を嫌がる	
見えている姿	隠れている要因	<input type="checkbox"/> 見通しを立てるのが苦手なのかも <input type="checkbox"/> いつもどおり、予定どおりに進まない不安になり受け入れられないのかも <input type="checkbox"/> 方法や手順に強いこだわりを持っているのかも	
<学級>	<input type="checkbox"/> 授業のめあてや活動の流れは最初に提示し、見通しが持てるようにする <input type="checkbox"/> なるべく早い段階で変更や変化を伝える <input type="checkbox"/> 変更内容や理由、とるべき行動などを伝える		
<個別>	<input type="checkbox"/> 気持ちの安定を図り、口頭での説明だけでなく視覚情報で提示する <input type="checkbox"/> 不安が強すぎる時には、変化後の行動を本人と確認する		
見えている姿		学習のルールを守れない	
見えている姿	隠れている要因	<input type="checkbox"/> ルールに意識が向かないのかも <input type="checkbox"/> 曖昧な暗黙のルールが分からないのかも <input type="checkbox"/> 人の関心を引こうとしているのかも	
<学級>	<input type="checkbox"/> 言葉だけではなく、視覚的な情報を掲示する <input type="checkbox"/> ルールを明文化し、暗黙のルールを作らないようにする <input type="checkbox"/> 関心を引くための不適切な言動は取り合わないようにし、良い言動をしたときに褒める		
<個別>	<input type="checkbox"/> いつでも確認できるよう、授業で守るルール一覧表を用意する <input type="checkbox"/> 肯定的な表現でどのようにしたらよいかを伝え、ルールが守れたら褒める		